

IoT/M2Mから エッジコンピューティングへ



PiTRex

ルータ機能だけでなく、高性能CPU搭載と最新Linux搭載でエッジ処理を可能に

エッジ処理

yocto
PROJECT

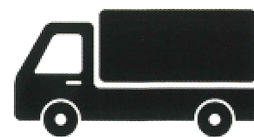
OSは組み込みLinuxの新定番「Yocto Project(Linux 4.14.98)」を採用。HDMIポートとあわせ、快適なエッジコンピューティング環境を提供します。

万が一の時も安心



リチウムイオンバッテリーを本体に搭載可能。予期しない停電等の際は一定時間動作を継続でき、停電メールを発報することで異常を通知できます。

みちびき対応GPS



UDR対応の3軸ジャイロ+加速度センサーが内蔵されたGNSS受信モジュールを搭載し、正確な動態管理を可能にします。振動対策も万全です。

1 停電メールと自己復旧機能で安心運用

エネルギー分野、農業分野、コインパーキング分野、スマートメーターなど、無人管理に使用する際、障害が発生しているのか、停電なのかの判断が難しい場面で、内蔵バッテリーで停電時でも稼働しつづけ、停電発生を停電メール/復電メールでお知らせします。

2 衛星測位システム+各種センサーで車両管理

UDRに対応し、トンネルやビル街でも正確な車両の動態管理が可能です。
ドライブレコーダーだけでなく、速度センサー、庫内の温度センサー、ドアの開閉センサーなどと接続し、車両の状態監視を併せて行います。今後のカメラ需要にも対応します。

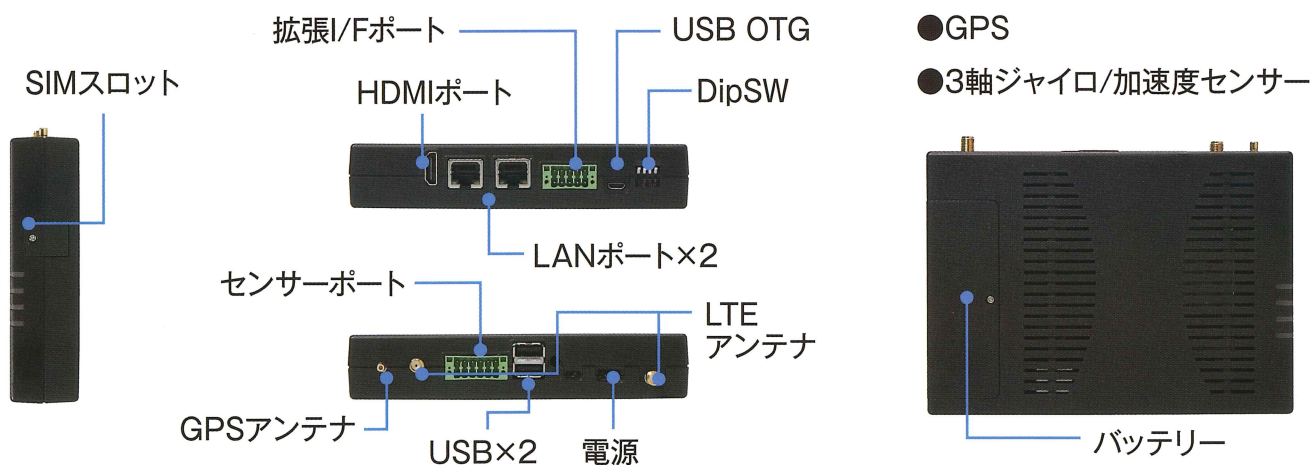
3 サイネージなどのマルチメディア対応

今後の5Gの普及で拡大が予測されるサイネージなどのマルチメディア対応の為、HDMIポートを準備しています。設置場所を選ばない映像とデータ通信の融合によるサービスをサポートします。

4 エッジコンピューティングの実現

高性能CPUとLinux (Yocto) の組合せで快適なエッジコンピューティングを実現します。エッジ側でのデータの収集・必要データの抽出とクラウド処理を組み合わせ、システム全体の処理速度の向上と高いセキュリティを両立します。

■外観図とインターフェイス



■製品仕様

仕様			
CPU	iMX8M mini 1.6GHz	衛星測位システム	GPS、QZSS等 (UDR対応)
OS	Yocto Project(Linux 4.14.98)	電源	DC9~36V
メモリ	RAM 2G ROM 4G	停電用バッテリー	筐体内部に搭載可 (オプション)
内蔵センサー	3軸ジャイロ、加速度センサー	温度 ※バッテリー非搭載時	動作：-35~70℃ 保管：-35~85℃
外部センサー	温度1-wire、車速パルス、通電×4	サイズ	110.0 × 154.0 × 30.7 mm
LTE	マルチキャリア対応LTE	重量	約250g
インターフェイス	GigaLAN×2、USB×2、USB OTG、HDMI、RS232C(TXD/RXD)、5V出力×2、GND、拡張 (GPIO・I2C)		
車載対応機能	イグニッション検知、UDR対応、振動検知待機機能、振動試験 (JIS-D-1601 3種A) 対応、USBコネクタ外れ防止		
オプション	LTEアンテナ、リチウムイオンバッテリー、ACアダプタ、壁付金具、USBコネクタ外れ防止バンド		

●本資料の内容は、2021年10月現在のものです。●内容等は製品改良の為、予告なく変更される可能性があります。

◆お問い合わせは◆

株式会社シーエスイー

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-7 ITOビル3階
TEL：03-5643-5881 <http://www.cseinfo.co.jp>